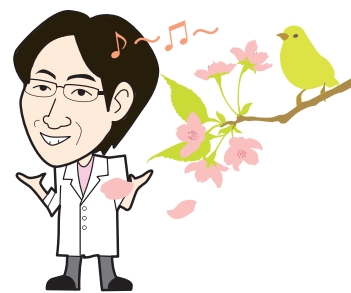


平成23年度 新研修医オリエンテーション



平成 23 年度新規採用の研修医（医科 22 名、歯科 6 名）オリエンテーションが、4 月 1～8 日に宮崎大学医学部附属病院で開催されました。初日は岡山センター長からの「約 40 年の医師ライフを見据えた初期 2 年間の研修アドバイス」に始まり、その後、卒後センター教員より研修到達目標や研修を乗り切るための（処世術的？）諸説明が行われました。夜は研修医自らが企画した親睦会が開かれ、医科 / 歯科、出身大学、出身地の違いを超えて、みんなで宮崎大学の研修を盛り上げよう、楽しもう、という熱気に包まれました。第 2 日目以降は、診療録の書き方、症例プレゼン技法などの講義、PubMed や Up To Date を用いた文献検索実習の他、卒後センター教員による医療シミュレータを用いた各種注射法、動脈採血、経鼻胃管挿入、尿道バルーン留置、ガウンテクニックなどの基本手技訓練、院内全診療科の若手医師インストラクターによる心肺蘇生術講習会（BLS、気管内挿管、静脈路確保、除細動、チーム医療（ALS））などが行われました。

これから、大学のみならず県内各地の医療機関で研修をさせていただきます。医療界の将来を担う若人達に温かいご指導とご支援をよろしくお願いいたします。



新研修医の声



Voice
新研修医
小松 亜由美
(写真右)

高知大学出身の小松亜由美です。私は研修先を宮崎大学に決めるにあたって、他大学出身者で不安が大きかったのですが、見学の際に先生方の温かい雰囲気が伝わってきて楽しい生活が送れるのではと思いました。またローテーションの選択の幅も大きく、多くの先生と出会い、幅の広い症例が経験できるのではと思いました。

4 月から右も左もわからない状態で不安も大きいですが、期待や楽しみな気持ちもたくさんあります。少しでも自分自身が成長できるように頑張りたい、そして楽しい充実した毎日を過ごせたらと思います。



Voice
新研修医
藤田 賢司
(写真左)

まず、東日本大震災に被災された方々にお見舞い申し上げます。テレビを見て何もする事ができずにいる自分の無力さを感じる中、卒業式に先生が、今回は何もすることができなくとも次の機会にはきっとできることがあり、その時に向け日々精進するよう仰られました。初期研修を終えた時一つでも多くの“できること”を増やせるよう、長い医師の道のりの第一歩を一生懸命頑張っていきます。

分からない事だらけでご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。



協力型臨床研修病院・研修協力施設・本院診療科 紹介

協力型 県立宮崎病院

大正10年に設立された当院は、多数の診療科を有する地域の中核的病院としての役割を担っております。「第三次救急医療施設」、「地域がん診療連携拠点病院」などの他、多くの専門学会認定医・専門医の研修・教育（関連）施設に指定されております。研修指導の特徴としては、指導医によるマンツーマンによる指導を基本にしておりますが、特定の診療科の研修医ではなく、県立宮崎病院の研修医として、全てのスタッフ医師が懇切丁寧に指導を行っています。研修中以外の診療科についても、多くの研修医向けカンファレンス・勉強会が開催されています。



協力型 社団法人八日会 藤元病院

当院は、都城市内の中央部に立地し、近隣の市町村は元より一部鹿児島圏域を含む広域の方々を対象に精神科医療を提供しております。急性期から慢性期、思春期から高齢者層まで様々な疾患、年齢層の方が入院、受診されており、幅広い症例を経験できるのが特徴で、精神疾患に対する適切な対応を習得できる環境が整備されております。在宅支援の面でも、外来作業療法、精神科デイケア・ショートケア・訪問看護などを実施し、円滑な社会生活が送れるよう体制作りを努めています。



協力施設 美郷町国保西郷病院

当院は、県北の自然と歴史あふれる中山間地域で、将来の家庭医（総合医）としての活躍の基本が学べる施設です。ベット数29床の小さな病院ですが、県内に数少ない屋上ヘリポートを備えており、研修医住宅も完備しています。内科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科、人工血液透析も行っており、町内唯一の病院として、住民のかかりつけ医療機関として利用していただいています。平成18年度からは宮崎県のへき地拠点病院の指定を受け、周辺施設への代診医派遣も行っています。研修指導者の指導だけでなく、病院の各職種、各スタッフ、さらには関連施設職員、地域住民すべてで研修医の応援を担当しており、まさに、地域医療の“絆”を体で味わってもらえるようなプログラムとなっています。



本院 膠原病・感染症内科

膠原病感染症内科は、関節リウマチをはじめとする膠原病、膠原病に伴う間質性肺炎や肺感染症を主体とした呼吸器疾患、他科で治療に難渋している感染症や不明熱の診断などを担当しております。当科では特に、患者さんの全身を診ることを研修の主要なポイントと考えています。実のある研修を送ってもらえるように、可能な限り各人の希望にそった患者さんを担当してもらっています。当科はいつでもウェルカムです。興味のある方は是非研修に来てください。



本院 泌尿器科

当教室は現在教授も含め13名のスタッフです。泌尿器腫瘍、小児泌尿器科、排尿障害などを中心に力を注いでおります。がんの手術では腹腔鏡手術を中心として安定した実績を有しています。また小児泌尿器科の分野では、長年専門医が診療にあたっております。排尿障害におきまして、前立腺肥大症に対する最新のレーザー手術も開始致しました。「当たり前前に行っていた」医師を数多く育てることをモットーとしており、2010年は3名の優秀な若手が入局してくれました。興味のある若手の先生は是非一度見学にきてください。



卒後臨床研修センター修了式



ベスト指導医賞受賞者からの声

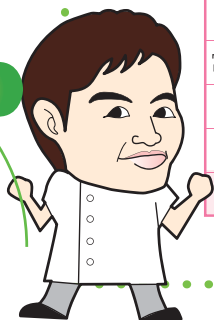
ベスト指導医に選出されたことは大変光栄ですし、今後の励みになります。研修医の先生方に教えているつもりが、こちらが教えられることも多くて大変勉強になりました。これからは研修医とともに自分自身も成長していきたいと思います。

平成22年度、卒後臨床研修センター修了式が3月23日に開催され、医科35名、歯科5名の合計40名が卒後臨床研修を修了しました。病院長や医学部長を始め、センター所属の先生方から激励の言葉を頂きました。また、同時に研修医が選ぶベスト指導医賞の発表があり、今年度は上位5名の先生方が選出され、受賞した先生からメッセージが伝えられました。それぞれが希望を胸に新たな旅立ちの日となりました。

宮崎大学研修修了後の進路

	平成17年度 修了者	平成18年度 修了者	平成19年度 修了者	平成20年度 修了者	平成21年度 修了者	平成22年度 修了者
宮崎大学・大学院	30	16	18	19	29	25
宮崎県内病院	4	2	2	2	1	0
外県大学・病院	2	8	3	5	6	9
合計	36	26	23	26	36	34※

※修了者：35名（産休1名含）



宮崎大学医学部附属病院群

卒後臨床研修プログラム説明会



宮崎大学医学部5年生を対象に平成23年1月22日105教室にて宮崎大学医学部附属病院群卒後臨床研修プログラム説明会を開催し、35名の参加がありました。

先輩医師からのアドバイスや、個別進路相談等があり、熱心に質問する場面がみられました。



中九州三大学合同専門医養成プログラム 総合フォーラム

平成23年3月15日に熊本大学にて第3回総合フォーラムが開催され、熊本大学・大分大学・宮崎大学より平成22年度の活動報告がありました。平成22年度は文部科学省より中間評価が実施され、いくつかの改善点が指摘されました。その中でも、三大学間での人事交流が最も重要な課題となっております。平成23年度以後は、連携10診療科において短期研修を中心とした人事交流など更なる活動が期待されます。



行事案内

4月1日(金)～8日(金)	平成23年度 研修医オリエンテーション
5月8日(日)	九州ブロック初期・後期研修進路説明会(福岡)
6月10日(金)	医師臨床研修マッチング説明会(宮崎大学予定)
6月下旬	指導医対象 EPOC 操作説明会
6月21日(火)	平成23年度歯科医師マッチング登録開始
6月23日(木)	平成23年度医師マッチング登録開始
7月3日(日)	2011年レジナビフェア in 大阪
7月17日(日)	2011年レジナビフェア in 東京
8月13日(土)	宮崎県臨床研修病院合同説明会(宮崎観光ホテル)
8月～9月予定	医師・歯科医師臨床研修マッチング面接

先生紹介



卒後臨床研修センター教員
森 信一郎先生

卒後臨床研修センターの森です。中央手術部で周術期管理(麻酔業務)に携わっています。麻酔科のローテートは、特に将来自分の進む診療科を決めておられる方には、違った視点で他の診療科を眺める、とてもいいチャンスを提供することと思います。全ての研修医の方が麻酔科をローテートするわけではないので、お会いする機会のない研修医の方も多いかと思いますが、御用の方はなんなりと。今のうちにたくさん install してください。専門の診療科に進んだら rebuild dependency、あとは update あるのみですから。ストレス解消法は、寝る前に、昨日まで出来なかったことの中で今日出来るようになったことを、ひとつでもいいから見つけて安心することです。

編集後記

平成21年8月より発刊している卒後臨床研修センター通信、第6刊目を迎えることができ様々な部署からのご指導、ご協力に感謝しています。今号より卒後臨床研修センターの顔である小松先生、有村先生のキャラクターを用いたイラストを使用し、気分一新イメージチェンジをしてみました♪

今後も更にグレードアップした卒後臨床研修センター通信から情報を発信していきたいと思っています。ご要望、ご意見、ご感想等あればぜひお寄せ下さい。



宮崎大学 医学部 総務課 卒後臨床研修係 (内線: 2386/2385)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL:0985-85-1864 / FAX:0985-85-3101
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp